

平成 23 年度 第 5 回税制調査会議事録

日 時：平成 23 年 6 月 16 日（木）18 時 27 分～

場 所：中央合同庁舎第 4 号館 11F 共用第 1 特別会議室

○五十嵐財務副大臣

ただいまから「税制調査会」を開催いたします。

前回の全体会合におきまして、私から、社会保障改革案に示された財源確保に関する基本的な枠組みについて、税制調査会としての考え方を整理した意見案を作成すること、また、税制抜本改革について、これまでに積み重ねられてきた議論を踏まえた改革の基本的方向性をとりまとめ、一体改革の成案に反映させるための文案を作成することについて御提案をし、委員の皆様のおおむねの御了解をいただきました。

このため、会長、会長代行とも相談をして、文案を作成した上で、先ほどまで開催していた起草会合において、その文案について議論をいたしました。一部、最終調整させていただくことになるとは思いますが「社会保障改革案に対する意見」と題する文書のとりまとめに至ったと思います。

今後は、会長、会長代行に、この文書に集約された意見を踏まえ、成案決定プロセスに臨んでいただくということで、一体改革成案に向けた税調としての対応とすることとしたいと思います。

皆さん、会長、会長代行が、皆さんの御意見を体して本体会合に臨むということによろしいでしょうか。

（「異議なし」と声あり）

○五十嵐財務副大臣

ありがとうございます。

それでは、会長、会長代行の皆様、よろしく願いいたします。

ここで、野田会長より御挨拶を賜ります。

○野田財務大臣

大変熱心な御議論、ありがとうございます。今日頂いた御意見を踏まえて、税調としての意見の中には、若干、修文が入るかもしれませんが、それは是非、お任せをいただきたいと思います。

今日、様々な角度から御議論いただきました。いろいろと、若干の濃淡があるところもあるかもしれませんが、今日頂いた御議論を踏まえて、私、そして会長代行の皆さんとともに成案決定のプロセスに臨んでいきたいと思っています。責任を持って対応させていただきたいと思っています。

ありがとうございます。

○五十嵐財務副大臣

ありがとうございます。

片山大臣、御発言はありますか。

○片山総務大臣

皆さん、本当にお疲れ様です。いろいろな意見が出まして、なるほどとうなずくものも多かったと思いますが、やはり、この種のことはどこかで割り切らなければいけないということもありまして、私自身にも言い聞かせてきているところであります。

先ほど会長がおっしゃったように、いろいろな意見を我々が集約して、踏まえて、その上で本会合に臨みたいと思います。どうかよろしく願いをいたします。

ありがとうございました。

○五十嵐財務副大臣

それでは、与謝野大臣、よろしいですか。

○与謝野内閣府特命担当大臣

いや、私はいいです。

○五十嵐財務副大臣

ありがとうございます。

本日の会議は、以上で終わります。2月の税調懇談会の設置に始まり、多数の会合を重ね、議論を積み重ねてまいりましたが、皆様の大変熱心な御議論のお陰をもちまして、本日、このような結果に至りました。皆様の御協力に感謝をいたします。

なお、傍聴されている記者の皆様に申し上げますが、記者会見は間もなく、この場所で行います。

本日はお疲れ様でした。これにて散会いたします。

ありがとうございました。

[閉会]

(注)

本議事録は、毎回の審議後速やかな公表に努め、限られた時間内にとりまとめるため、速記録に基づき、内閣府、財務省及び総務省において作成した資料です。

内容には正確を期していますが、事後の修正の可能性があることをご承知おきください。